

令和4年度 第2回OBクラブ杯中学生軟式野球大会 要項

1. 目的 この大会は、中学生野球の一環として中学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学生を育成するとともに、中学生の相互の親睦をはかるものである。
また、中学3年生が選手権大会引退後にもう一度野球通して華を咲かせる機会を持たせる。
2. 主催 日本プロ野球OBクラブ 公益社団法人全国野球振興会
3. 主管 日本プロ野球OBクラブ野球事業推進委員会
4. 協賛 大東建託株式会社
5. 期日 令和4年8月～8月24日（水）各ブロック予選（4つのブロックに分けてのリーグ戦）
令和4年8月25日（木）4つの区・ブロック代表による決勝トーナメント
※予備日 8月26日（金）（前日雨天中止の場合、会場確保ができない時は中止）
6. 会場 予選リーグ 各ブロックで会場（中学校校庭他）を確保し、実施する。
決勝トーナメント スリーボンドパーク上柚木球場
7. 参加資格 (1) 選手は東京都中学校体育連盟野球部に登録していた3年生に限る。
(2) 東京都中体連野球部が示す第1ブロック～第11ブロックでブロック・区・支部ごとに選手を募り、選抜チームを編成すること。（特に選抜試験を実施しなくてよいが、各ブロック・区・支部で定めた練習日や公式戦に必ず参加できること。保護者の参加同意書を監督に提出⇒部長へ）
(3) 引率責任者はチームごとに各区・ブロックで代表者を決める。または保護者とする。
(4) 監督も区・ブロックごとに代表者を決める。コーチとして2名登録できる。
8. 引率 引率責任者は各ブロック・区・支部で代表者を決める。または保護者とする。
9. 参加者数 (1) 1チームは引率責任者1名、監督1名、コーチ数名、選手20名以内
*応募の結果20名以上になったブロック・区に関しては2チームの出場を認める。
(2) 監督は各区・ブロックで選出する。
10. 参加費 無料（ただし、保険や交通費等については個人負担とする）
ただし傷害保険として100円徴収する。（個人負担）
11. 競技規則 2022年公認野球規則・全日本軟式野球連盟競技者必携及び大会特別規定による。
12. 競技方法 (1) 全試合トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。
(2) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。（全試合に適用する）
(3) 降雨、日没等のため試合続行が不可能と判断した場合、試合成立は5回とし、得点差があれば、コールドゲームとする。（全試合に適用する）
(4) 同点の場合は7回までとし、全試合についてタイブレーク方式を適用する。但し、突発的事態が起きたときや決勝戦には適用しない。
(5) 全試合にサスペンデッドゲームを適用する。
13. 使用用具 (1) 大会使用球は、(財)全日本軟式野球連盟公認球（M号）とする。
(2) その他の使用器具は、(財)全日本軟式野球連盟公認のものとする。
(3) スパイクシューズは黒一色または白一色とする。
(4) ユニフォームに関しては自チームで使用していた物または練習用白とする。
(5) 背番号は1～20とし、原則ポジション順とする。（準備できない区・ブロックに関しては自チームの背番号で良い。なるべく避けていただきたいが、1番が2人いてもよい。）
(5) 打者・走者およびベースコーチは、ヘルメットを着用する。
(6) 捕手はレガース・プロテクター・ヘルメット・スロートガードを装備する。
控え捕手も同様とする。ファウルカップは必ず装備する。

14. 表彰 (1) 優勝ブロックには、賞状・優勝カップ（持ち回り）・メダルを授与する。
(2) 準優勝ブロックには、賞状・メダルを授与する。
(3) 第3位ブロックには、賞状・メダルを授与する。
(4) 全チームに自チームの中から数名に敢闘賞を授与する。
(5) 全試合対象で個人賞を授与する。（例：本塁打賞、首位打者、防御率等）
15. 参加申込 大会本部が作成した所定の登録用紙を本部に提出する。
16. 会議 7月11（月）の専門委員会時に行う。【出場予定ブロック・区については7月5（火）までに参加申込書を部長に提出する。】
17. その他 (1) 大会中の不慮の負傷・疾病についての応急処置は、各チームで対応できるよう救急薬品の用意をしておくこと。
(2) 東京都中学校体育連盟野球部が示すコロナウイルス感染拡大防止の危機管理に関する資料を参考にする。
(3) 本大会における防災対策と災害発生時の対応に関する心構えとして東京都中学校体育連盟が示す大地震発生時の危機管理に関する資料を参考にする。
18. 連絡先 (1) 大会前 小沼 和徳
青梅市立新町中学校 電話 0428-31-0411
(2) 大会期間中 小沼 和徳
会議時に連絡先を伝える。
19. 本部代表者 (1) 主催者側
日本プロ野球OBクラブ 常務理事・事業統括・野球事業推進委員長 石毛 宏典
同上 事業部部長 東 玲作
(2) 中体連側協力者
東京都中体連野球部 部長 小沼 和徳
同上 副部長 石上 貴也 少年幹事 村松 諭